

第4部 医療機関分類別の解析結果

1. 医療機関の分類方法について

回答者の勤務する機関の種類は全 18 あり、本調査では医療機関を機能別に 3 つに分類し、解析した。

表 4-1 医療機関の分類方法と回答者数内訳

	所属機関	回答者数	
分類Ⅰ 高度先進医療群	大学附属病院	12名	21名
	がん拠点病院	8名	
	ナショナルセンター	1名	
分類Ⅱ 一般的な医療群	一般病院	45名	45名
分類Ⅲ 長期療養医療群	精神科病院	8名	20名
	療養型病院／病床	12名	
その他	その他	25名	

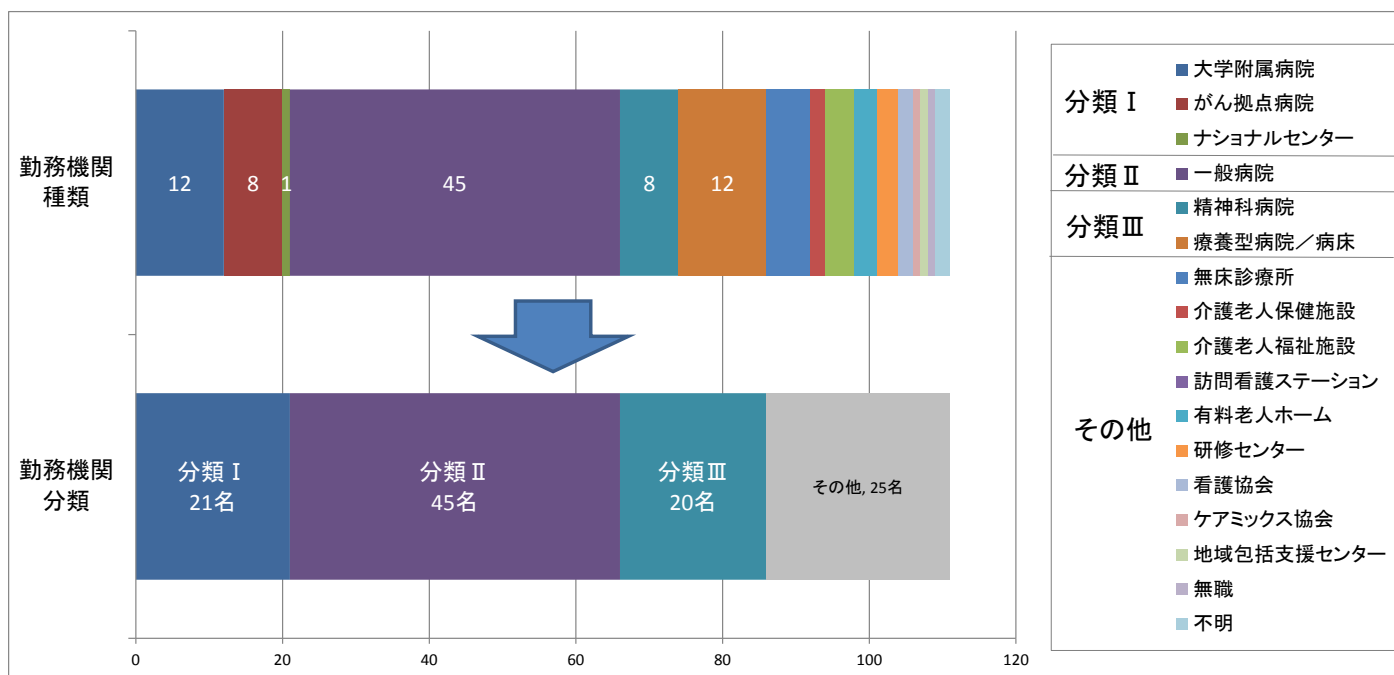


図 4-1 医療機関の分類方法と回答者数内訳

2. 回答者の基本属性

1) 性別(表 4-2-1)

回答者 86 名の男女比は、分類Ⅰは男性 3 名(14.3%)、女性 18 名(85.7%)、分類Ⅱは男性 5 名(11.1%)、女性 40 名(88.9%)、分類Ⅲは男性 4 名(20.0%)、女性 16 名(80.0%)で、男性の割合は分類Ⅲに多く、女性の割合は分類Ⅱに多かった。

表 4-2-1 回答者の男女構成(勤務機関別)

	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ
男性	3 名(14.3%)	5 名(11.1%)	4 名(20.0%)
女性	18 名(85.7%)	40 名(88.9%)	16 名(80.0%)

2) 年齢

回答者の平均年齢は分類Ⅰ 40.6 歳(SD5.7)、分類Ⅱ 42.4 歳(SD6.5)、分類Ⅲ 45.2 歳(SD5.9)で、分類Ⅲが最も平均年齢が高かった。

3) その他の保有資格(表 4-2-2)

回答者が保有するその他の資格には、分類Ⅰには保有者がおらず、分類Ⅱでは、認知症ケア専門士、救急救命士、呼吸療法士などがあり、分類Ⅲでは認知症ケア専門士のみであった。

表 4-2-2 回答者のその他の保有資格(勤務機関分類別)

	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ
認知症ケア専門士	0 名(0.0%)	7 名(6.3%)	2 名(1.8%)
救急救命士	0 名(0.0%)	2 名(1.8%)	0 名(0.0%)
呼吸療法認定士	0 名(0.0%)	3 名(2.7%)	0 名(0.0%)
介護支援専門員	0 名(0.0%)	1 名(0.9%)	0 名(0.0%)
糖尿病療養指導士	0 名(0.0%)	1 名(0.9%)	0 名(0.0%)
社会福祉士	0 名(0.0%)	1 名(0.9%)	0 名(0.0%)

4) これまでの臨床経験年数(表 4-2-3)

平均臨床経験年数は分類Ⅰ 197.3 ヶ月(約 16 年 5 ヶ月)(SD58.7)、分類Ⅱ 211.0 ヶ月(17 年 7 ヶ月)(SD78.3)分類Ⅲ 221.9 ヶ月(約 18 年 6 ヶ月)(SD65.5)で、分類Ⅲが最も長かった。

5) 現在の所属機関での臨床経験年数(表 4-2-3)

平均臨床経験年数は分類Ⅰ 131.1 ヶ月(約 10 年 11 ヶ月)(SD77.2)、分類Ⅱ 149.4 ヶ月(約 12 年 5 ヶ月)(SD99.6)、分類Ⅲ 134.1 ヶ月(約 11 年 2 ヶ月)(SD64.8)で、分類Ⅱが最も長かった。

6) CNS・CN としての臨床経験年数(表 4-2-3)

平均臨床経験年数は分類Ⅰ 42.1 ヶ月(約 3 年 6 ヶ月)(SD54.2)、分類Ⅱ 38.3 ヶ月(約 3 年 2 ヶ月)(SD36.9)分類Ⅲ 42.0 ヶ月(3 年 6 ヶ月)(SD37.1)で、分類による差はなかった。

表 4-2-3 回答者の臨床経験年数(常勤換算：勤務機関別)

	(ヶ月)		
	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
全臨床経験年数	197.3(58.7)	211.0(78.3)	221.9(65.5)
現在の所属の臨床経験年数	131.1(77.2)	149.4(99.6)	134.1(64.8)
CNS, CN としての臨床経験年数	42.1(54.2)	38.3(36.9)	42.0(37.1)

7) 現在の勤務形態

勤務機関分類別の勤務形態内訳は分類Ⅰが常勤 20 名(95.2%)、非常勤 1 名(4.8%)、分類Ⅱが常勤 45 名(100%)、分類Ⅲが常勤 20 名(100%)であった。

8) 現在の職位(図 4-2-1)

分類Ⅰはスタッフが11名(52.4%)、主任・副師長相当職が6名(28.6%)、師長相当職が1名(4.8%)、副部長相当職が3名(14.3%)、部長相当職が0名(0.0%)であった。

分類Ⅱはスタッフが19名(42.2%)、主任・副師長相当職が17名(37.8%)、師長相当職が7名(15.6%)、副部長相当職が1名(2.2%)、部長相当職は1名(2.2%)であった。

分類Ⅲはスタッフが5名(25.0%)、主任・副師長相当職が7名(35.0%)、師長相当職が7名(35.0%)、副部長相当職が1名(5.0%)、部長相当職は0名(0.0%)であった。

分類Ⅰでスタッフ、分類Ⅱでは主任・副師長相当職、分類Ⅲで師長相当職の割合が高かった。

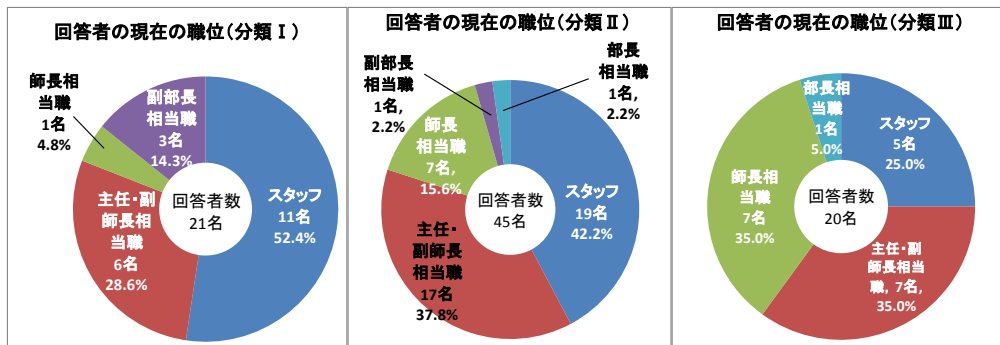


図 4-2-1 勤務機関別の回答者の現在の職位

9) 勤務の形態(表 4-2-4)

分類Ⅰは病棟配属でスタッフとして勤務する者が10名(43.5%)、病棟配属の管理者(主任、師長など)が4名(17.4%)、看護部所属で院内でフリーに勤務する者が4名(17.4%)、外来配属でスタッフとして勤務する者・外来配属の管理者(主任、師長など)として勤務する者が各1名(4.3%)、看護部所属で教育・管理業務の者が3名(13.1%)、その他0名(0.0%)であった。

分類Ⅱは病棟配属でスタッフとして勤務する者が21名(39.6%)、病棟配属の管理者(主任、師長など)が13名(24.5%)、看護部所属で院内でフリーに勤務する者が8名(15.1%)、外来配属でスタッフとして勤務する者・外来配属の管理者はともになし、看護部所属で教育・管理業務の者が4名(7.6%)、その他7名(13.2%)であった。

分類Ⅲは病棟配属でスタッフとして勤務する者が8名(32.0%)、病棟配属の管理者(主任、師長など)が8名(32.0%)、看護部所属で院内でフリーに勤務する者が2名(8.0%)、外来配属でスタッフとして勤務する者・外来配属の管理者(主任、師長など)として勤務する者が各0名(0.0%)、看護部所属で教育・管理業務の者が4名(16.0%)、その他3名(12.0%)であった。

分類Ⅰでは、病棟スタッフ、看護部所属で院内フリーの勤務をする者の割合がやや高かった。

表 4-2-4 勤務機関別の回答者の勤務の仕方(常勤換算)

		全体(n=101)	分類Ⅰ(n=23)	分類Ⅱ(n=53)	分類Ⅲ(n=25)
病棟配属	管理者	25名(24.8%)	4名(17.4%)	13名(24.5%)	8名(32.0%)
	スタッフ	39名(38.6%)	10名(43.5%)	21名(39.6%)	8名(32.0%)
看護部所属	教育・管理業務	11名(10.9%)	3名(13.1%)	4名(7.6%)	4名(16.0%)
	院内フリー	14名(13.9%)	4名(17.4%)	8名(15.1%)	2名(8.0%)
外来配属	管理者	1名(1.0%)	1名(4.3%)	0名(0.0%)	0名(0.0%)
	スタッフ	1名(1.0%)	1名(4.3%)	0名(0.0%)	0名(0.0%)
その他		10名(9.8%)	0名(0.0%)	7名(13.2%)	3名(12.0%)

3. 勤務している機関の特性について

1) 設置主体(図 4-3-1)

分類Ⅰは国立が3名(14.3%)、公立(県立・市立・町立など)が3名(14.3%)、学校法人が10名(47.6%)、医療法人が1名(4.8%)、社会福祉法人が1名(4.8%)、一般社団法人が2名(9.5%)、株式会社が1名(4.8%)であった。

分類Ⅱは国立が2名(4.4%)、公立(県立・市立・町立など)が11名(24.4%)、医療法人が11名(24.4%)、社会福祉法人が3名(6.7%)、一般社団法人が2名(4.4%)、公益法人が6名(13.3%)、株式会社が1名(2.2%)、その他が9名(20.0%)であった。

分類Ⅲは公立(県立・市立・町立など)が1名(5.0%)、医療法人が16名(80.0%)、一般社団法人が1名(5.0%)、公益法人が1名(5.0%)、その他が1名(5.0%)であった。

分類Ⅰは学校法人、分類Ⅱは公立(県立・市立・町立など)、分類Ⅲは医療法人の割合が高かった。

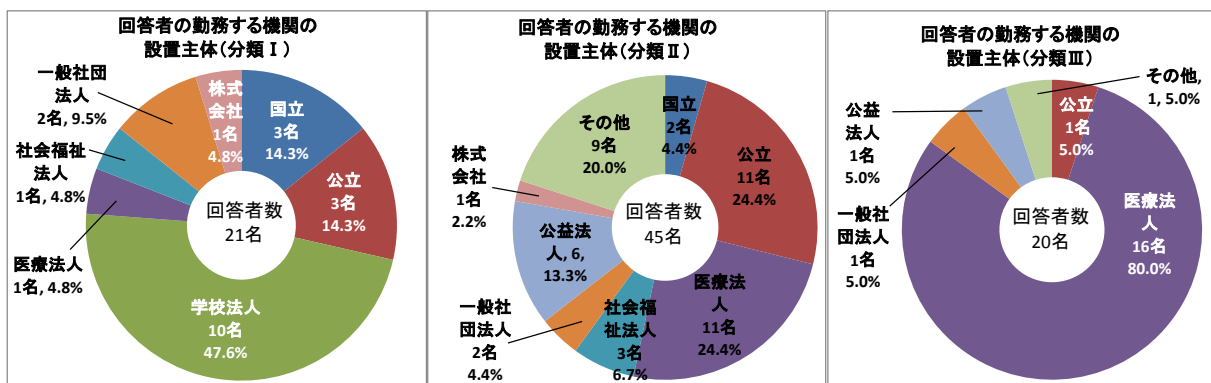


図 4-3-1 回答者の勤務する機関の設置主体(勤務機関分類別)

2) 勤務する機関の種類

分類Ⅰ21名(大学附属病院12名、がん拠点病院8名、ナショナルセンター1名)、分類Ⅱ45名(一般病院)、分類Ⅲ20名(精神科病院8名、療養型病院/病床12名)であった。以下、分類対象外の機関として、有床診療所0名、無床診療所6名、介護老人保健施設2名、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)4名、訪問看護ステーション0名、その他13名であった。

3) 医療機関全体の病床数と内訳(表 4-3-1)

一般病棟は分類Ⅰの病床数が多かった。医療保険療養病床は分類Ⅰ、精神病床は分類Ⅲが多く、回復期リハビリテーション病床は分類Ⅱで病床数が多かった。

表 4-3-1 医療機関全体のベッド数と内訳の平均(勤務機関分類別)

	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
機関全体	651.8(337.9)	368.5(183.4)	378.9(241.9)
医療保険療養病床	530.2(609.6)	196.7(180.4)	167.2(119.2)
介護保険療養病床	0.0(0.0)	46.5(54.0)	131.5(90.0)
一般病床	724.6(577.0)	294.0(164.4)	39.9(35.4)
老人性認知症疾患療養病床	0.0(0.0)	0.0(0.0)	163.3(100.8)
結核病床	11.0(17.6)	6.7(11.5)	0.0(0.0)
感染症病床	2.1(3.1)	5.9(5.0)	0.0(0.0)
精神病床	58.4(39.6)	45.7(27.4)	189.9(150.5)
回復期リハビリテーション病床	17.0(23.3)	53.5(53.3)	37.7(42.4)
ICU	11.7(9.3)	9.5(8.6)	0.0(0.0)
HCU	9.9(8.8)	13.1(8.9)	0.0(0.0)
ホスピス	4.4(9.8)	17.3(12.1)	4.0(8.9)
救急病床	38.0(-)	31.0(15.6)	- (-)
その他	20.0(34.6)	21.0(17.9)	23.8(43.2)

4) 患者ケアの看護体制(複数回答)(表 4-3-2)

分類Ⅰは、固定チームナーシング 13名(46.4%)、プライマリナーシング(受け持ち制)7名(25.0%)、モジュール型看護方式 3名(10.8%)、機能別看護方式 2名(7.1%)、その他として、パートナーシップ 2名(7.1%)であった。

分類Ⅱは、固定チームナーシング 30名(51.8%)、非固定チームナーシング 3名(5.2%)、プライマリナーシング(受け持ち制)18名(31.0%)、モジュール型看護方式 1名(1.7%)、機能別看護方式 4名(6.9%)、その他として、パートナー型 2名(3.4%)であった。

分類Ⅲは、固定チームナーシング 13名(41.9%)、非固定チームナーシング 6名(19.4%)、プライマリナーシング(受け持ち制)7名(22.6%)、機能別看護方式 5名(16.1%)であった。

いずれも、固定チームナーシング、プライマリナーシング(受け持ち制)が多かった。

表 4-3-2 医療機関における患者ケアの看護体制(複数回答：勤務機関分類別)

	分類Ⅰ(n=28)	分類Ⅱ(n=58)	分類Ⅲ(n=31)
固定チーム	13名(46.4%)	30名(51.8%)	13名(41.9%)
非固定チーム	0名(0.0%)	3名(5.2%)	6名(19.4%)
受持制	7名(25.0%)	18名(31.0%)	7名(22.6%)
モジュール型看護方式	3名(10.8%)	1名(1.7%)	0名(0.0%)
機能別看護方式	2名(7.1%)	4名(6.9%)	5名(16.1%)
パートナーシップ	2名(7.1%)	2名(3.4%)	0名(0.0%)
小チーム共同体制	1名(3.6%)	0名(0.0%)	0名(0.0%)

5) 所属機関の専門職員数(常勤換算)(表 4-3-3)

分類Ⅰは医師数、看護師数とも最も多く、次いで分類Ⅱ、分類Ⅲの順であった。介護職員が多いのは分類Ⅲであった。

表 4-3-3 医療機関の医師数と専門職員数(常勤換算：勤務機関分類別)

		分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
医師数		284.0(295.3)	67.3(73.6)	13.5(9.5)
うち	精神科医	8.4(9.6)	1.4(1.7)	4.8(6.4)
	神経内科医	8.4(8.7)	2.4(3.1)	0.9(0.8)
	老年科医	0.6(1.3)	0.2(0.4)	0.6(0.5)
看護師		598.6(397.9)	278.2(190.4)	82.4(49.3)
准看護師		3.9(5.6)	12.7(16.4)	27.7(18.1)
薬剤師		31.3(19.1)	14.7(10.7)	4.2(2.1)
理学療法士		12.9(8.1)	19.0(29.4)	14.2(13.4)
作業療法士		6.1(4.9)	9.4(15.5)	10.0(6.4)
言語聴覚士		2.8(1.8)	3.8(5.3)	3.2(1.9)
管理栄養士		7.4(5.8)	5.5(6.0)	2.2(1.2)
放射線技師		24.7(17.9)	12.8(7.8)	2.2(1.4)
看護補助者		36.4(33.7)	34.9(33.8)	18.2(18.7)
介護職員		6.0(14.9)	10.4(15.7)	112.3(104.6)
社会福祉士		4.7(2.9)	4.8(6.5)	3.7(2.4)
介護支援専門員		0.0(0.0)	6.3(20.3)	6.2(4.7)
その他		95.4(165.7)	43.9(61.1)	54.2(39.9)

6) 入院基本料の看護体制(表 4-3-4)

分類Ⅰ、分類Ⅱは7対1入院基本料の看護体制をとる機関が多かった。分類Ⅲは無回答が多かった。

表 4-3-4 勤務機関分類別の入院基本料の看護体制

	分類Ⅰ(n=21)	分類Ⅱ(n=45)	分類Ⅲ(n=20)
7対1入院基本料	18(85.7%)	29(64.4%)	2(10.0%)
10対1入院基本料	0(0.0%)	7(15.6%)	2(10.0%)
13対1入院基本料	0(0.0%)	0(0.0%)	1(5.0%)
15対1入院基本料	0(0.0%)	3(6.7%)	0(0.0%)
無回答	3(16.3%)	6(13.3%)	15(75.0%)

7) 2014年2月1ヶ月間の院内の全入院患者数(表 4-3-5)

分類Ⅰ平均 1581.6 人(SD1885.9)、分類Ⅱ平均 2020.9 人(SD4235.3)、分類Ⅲ平均 57.1 人(SD71.3)で、分類Ⅱが最も多かった。

8) 2014年2月1ヶ月間の院内の全退院患者数(表 4-3-5)

分類Ⅰ平均 651.2 人(SD499.4)、分類Ⅱ平均 418.2 人(SD334.4)、分類Ⅲ平均 38.8 人(SD45.5)で、分類Ⅰが最も多かった。

表 4-3-5 勤務機関分類別の院内の全入院患者数

	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
全入院患者数	1581.6(1885.9)	2020.9(4235.3)	57.1(71.3)
全退院患者数	651.2(499.4)	418.2(334.4)	38.8(45.5)

9) 病棟/ユニット等の1看護ケア単位の病床数(表 4-3-6)

分類Ⅰ平均 87.7 床(SD153.2)、分類Ⅱ平均 48.4 床(SD5.0)、分類Ⅲ平均 45.4 床(SD13.9)で、分類Ⅰが多くなっていた。

10) 医療機関全体の病棟/ユニット数(表 4-3-6)

分類Ⅰ平均 16.6 病棟/ユニット(SD9.9)、分類Ⅱ平均 9.4 病棟/ユニット(SD9.8)、分類Ⅲ平均は 18.4 病棟/ユニット(SD45.3)で、分類Ⅱのユニット数が少なかった。

表 4-3-6 勤務機関分類別の院内の全入院患者数

	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
1看護ケア単位の病床数	87.7床(153.2)	48.4床(5.0)	45.4床(13.9)
全病棟/ユニット数	16.6(9.9)	9.4(9.8)	18.4(45.3)

11) 日勤帯の看護師が受け持つ患者数(表 4-3-7)

分類Ⅰ平均 6.5 人(SD1.6)、分類Ⅱ平均 6.5 人(SD2.3)、分類Ⅲ平均 11.2 人(SD3.8)で、分類Ⅲは受け持ち患者が10人を越えていた。

12) 夜間(深夜)勤務帯の看護師が受け持つ患者数(表 4-3-7)

分類Ⅰ平均 14.9 人(SD4.0)、分類Ⅱ平均 19.0 人(SD5.6)、分類Ⅲ平均 40.0 人(SD15.8)で、分類Ⅲの受け持ち患者が40人と多かった。

表 4-3-7 勤務機関分類別の看護師の受け持ち患者数

	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
日勤帯	6.5(1.6)	6.5(2.3)	11.2(3.8)
夜間(深夜)勤務帯	14.9(4.0)	19.0(5.6)	40.0(15.8)

4. 病棟/ユニットの入院患者について

1) 2014年2月のある一日の入院患者の入院時の日常生活行動(ADL)の自立度(表 4-4-1、図 4-4-1)

分類Ⅰ平均全介助 11.1人(SD7.3)、半介助 15.2人(SD7.5)、自立 15.9人(SD9.2)、自立度不明 0.2人(SD0.7)、分類Ⅱ平均全介助 14.3人(SD13.8)、半介助 17.6人(SD12.6)、自立 13.0人(SD8.4)、自立度不明 1.4人(SD2.6)、分類Ⅲ平均全介助 33.5人(SD47.0)、半介助 21.4人(SD16.0)、自立 4.9人(SD4.3)、自立度不明 0.0人(SD0.0)で、全介助は分類Ⅲ、半介助は分類Ⅱ、自立は分類Ⅰにそれぞれ最も多かった。

表 4-4-1 勤務機関分類別の入院患者の入院時の ADL 自立度

	(人)		
	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
全介助	11.1(7.3)	14.3(13.8)	33.5(47.0)
半介助	15.2(7.5)	17.6(12.6)	21.4(16.0)
自立	15.9(9.2)	13.0(8.4)	4.9(4.3)
不明	0.2(0.7)	1.4(2.6)	0.0(0.0)

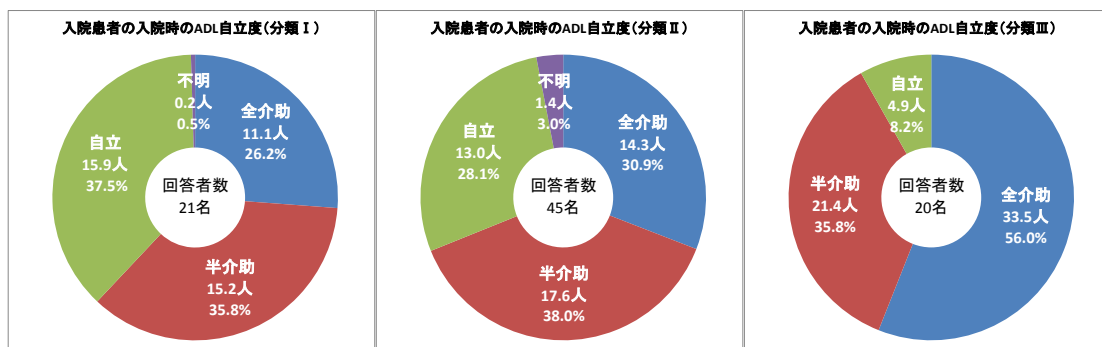


図 4-4-1 入院患者の入院時の ADL 自立度

2) 2014年1月のある一日の入院患者の入院時の介護保険制度の要介護度(表 4-4-2、図 4-4-2)

分類Ⅰ平均要介護 5 1.8人(SD1.7)、要介護 4 2.0人(SD2.0)、要介護 3 2.8人(SD2.9)、要介護 2 3.8人(SD2.7)、要介護 1 2.0人(SD1.5)、要支援 2 1.2人(SD1.1)、要支援 1 1.3人(SD0.9)、介護度不明 11.4人(SD14.9)であった。

分類Ⅱ平均要介護 5 3.7人(SD4.1)、要介護 4 3.1人(SD2.5)、要介護 3 3.7人(SD2.6)、要介護 2 3.3人(SD2.0)、要介護 1 3.2人(SD1.7)、要支援 2 2.2人(SD1.8)、要支援 1 1.4人(SD1.1)、介護度不明 12.9人(SD13.8)であった。

分類Ⅲ平均要介護 5 11.3人(SD8.2)、要介護 4 10.4人(SD4.8)、要介護 3 9.2人(SD3.9)、要介護 2 6.2人(SD3.6)、要介護 1 3.4人(SD2.8)、要支援 2 0.0人(SD0.0)、要支援 1 0.1人(SD0.3)、介護度不明 12.3人(SD11.1)で、要介護 5 は分類Ⅲに多かった。

表 4-4-2 勤務機関分類別の入院患者の入院時の要介護度

	(人)		
	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
要介護 5	1.8(1.7)	3.7(4.1)	11.3(8.2)
要介護 4	2.0(2.0)	3.1(2.5)	10.4(4.8)
要介護 3	2.8(2.9)	3.7(2.6)	9.2(3.9)
要介護 2	3.8(2.7)	3.3(2.0)	6.2(3.6)
要介護 1	2.0(1.5)	3.2(1.7)	3.4(2.8)
要支援 2	1.2(1.1)	2.2(1.8)	0.0(0.0)
要支援 1	1.3(0.9)	1.4(1.1)	0.1(0.3)
不明	11.4(14.9)	12.9(13.8)	12.3(11.1)

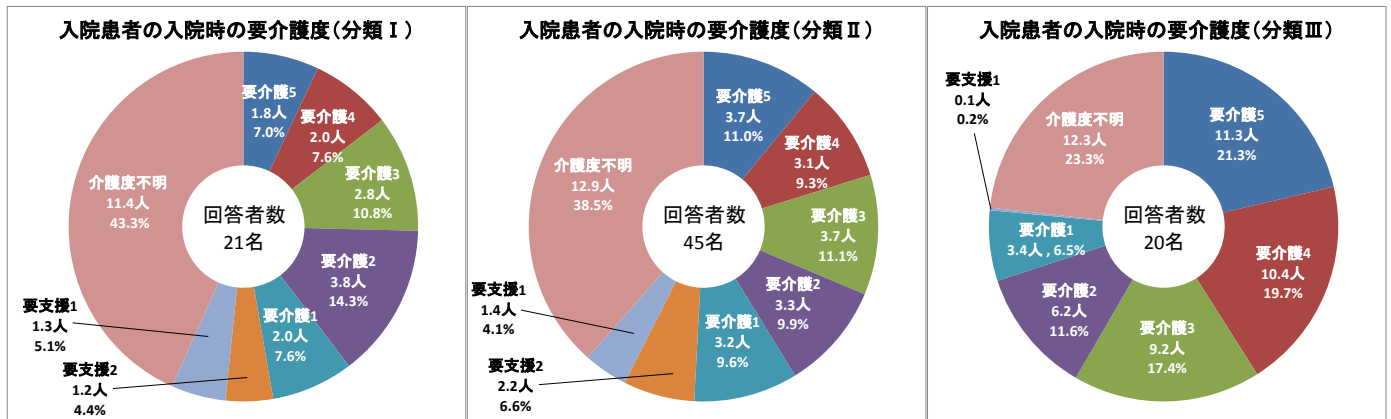


図 4-4-2 入院患者の入院時の要介護度

3) 2014年1月のある一日の入院患者のうち、認知症のない患者数、およびアルツハイマー病、またはアルツハイマー型認知症と診断を受けている患者の入院時の認知症の程度(FAST 分類)別の人数(表 4-4-3)

分類Ⅰは正常 22.5 人(SD15.5)、年齢相応 3.1 人(SD3.9)、境界状態 1.5 人(SD1.8)、軽症認知症 2.3 人(SD2.0)、中等認知症 2.3 人(SD2.0)、高度認知症 2.4 人(SD2.2)、重度認知症 0.9 人(SD1.4)、認知度不明 9.1 人(SD15.7)、分類Ⅱは正常 22.7 人(SD22.6)、年齢相応 7.0 人(SD10.4)、境界状態 4.0 人(SD4.2)、軽症認知症 3.4 人(SD3.1)、中等認知症 4.0 人(SD4.6)、高度認知症 3.9 人(SD4.5)、重度認知症 4.6 人(SD8.3)、認知度不明 11.0 人(SD10.0)、分類Ⅲは正常 0.7 人(SD1.4)、年齢相応 0.9 人(SD2.2)、境界状態 0.0 人(SD0.0)、軽症認知症 2.2 人(SD2.5)、中等認知症 5.5 人(SD3.9)、高度認知症 10.7 人(SD8.4)、重度認知症 10.2 人(SD7.4)、認知度不明 8.8 人(SD18.9)で、正常は分類Ⅰ、分類Ⅱに多く、高度、重度認知症は分類Ⅲに多くなっていた。

表 4-4-3 勤務機関分類別の入院患者の入院時の FAST 分類

FAST 分類	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
正常	22.5(15.5)	22.7(22.6)	0.7(1.4)
年齢相応	3.1(3.9)	7.0(10.4)	0.9(2.2)
境界状態	1.5(1.8)	4.0(4.2)	0.0(0.0)
軽症認知症	2.3(2.0)	3.4(3.1)	2.2(2.5)
中等認知症	2.3(2.0)	4.0(4.6)	5.5(3.9)
高度認知症	2.4(2.2)	3.9(4.5)	10.7(8.4)
重度認知症	0.9(1.4)	4.6(8.3)	10.2(7.4)
不明	9.1(15.7)	11.0(10.0)	8.8(18.9)

4) 2014年1月のある一日の入院患者の入院時の年齢階級別人数(表 4-4-4)

分類Ⅰは 64 歳以下 15.1 人(SD11.6)、65 歳以上 74 歳以下 10.8 人(SD4.6)、75 歳以上 17.4 人(SD5.8)、分類Ⅱは 64 歳以下 8.8 人(SD6.7)、65 歳以上 74 歳以下 11.1 人(SD7.9)、75 歳以上 28.9 人(SD21.9)、分類Ⅲは 64 歳以下 2.3 人(SD8.6)、65 歳以上 74 歳以下 7.1 人(SD5.6)、75 歳以上 50.1 人(SD40.6)であった。

表 4-4-4 勤務機関分類別の入院患者の入院時の年齢階級別人数

	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
64 歳以下	15.1(11.6)	8.8(6.7)	2.3(8.6)
65~74 歳	10.8(4.6)	11.1(7.9)	7.1(5.6)
75 歳以上	17.4(5.8)	28.9(21.9)	50.1(40.6)

5) 2014年1月のある一日の入院患者の入院直前の生活場所(表4-4-5)

分類Ⅰは自宅35.3名(SD11.3)、医療機関5.4名(SD9.7)、介護老人福祉施設1.2名(SD1.7)、介護老人保健施設1.8名(SD2.0)、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)0.6名(SD0.7)、サービス付き高齢者向け住宅0.3名(SD0.4)、軽費老人ホーム(ケアハウス等)0.1名(SD0.3)、有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護1.2名(SD1.9)、特養0.0名(SD0.0)、障害者施設0.0名(SD0.0)、他病棟0.0名(SD0.0)、ホームレス0.0名(SD0.0)、託老所0.0名(SD0.0)、不明25.0名(SD25.0)、

分類Ⅱは自宅29.8名(SD18.5)、医療機関6.0名(SD9.6)、介護老人福祉施設3.6名(SD5.6)、介護老人保健施設1.7名(SD1.4)、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)0.7名(SD0.7)、サービス付き高齢者向け住宅1.3名(SD2.7)、軽費老人ホーム(ケアハウス等)0.7名(SD1.5)、有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護0.8名(SD0.9)、特養2.0名(SD0.8)、障害者施設1.0名(SD0.0)、他病棟0.0名(SD0.0)、ホームレス1.0名(SD0.0)、託老所1.0名(SD0.0)、不明0.0名(SD0.0)、

分類Ⅲは自宅17.1名(SD8.4)、医療機関18.6名(SD13.0)、介護老人福祉施設3.6名(SD3.2)、介護老人保健施設3.8名(SD2.1)、グループホーム(認知症対応型共同生活介護)2.8名(SD3.6)、サービス付き高齢者向け住宅0.7名(SD0.7)、軽費老人ホーム(ケアハウス等)1.0名(SD1.2)、有料老人ホーム、特定施設入居者生活介護0.3名(SD0.5)、特養0.0名(SD0.0)、障害者施設1.0名(SD0.0)、他病棟13.0名(SD0.0)、ホームレス0.0名(SD0.0)、託老所0.0名(SD0.0)、不明0.0名(SD0.0)であった。

自宅から入院した者は分類Ⅰ、医療機関からの入院(転院)、グループホームからの入院は分類Ⅲ、サ高住からの入院は分類Ⅱに多く見られた。

表4-4-5 勤務機関分類別の入院患者の入院直前の生活場所

生活場所	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD) ^(人)
自宅	35.3(11.3)	29.8(18.5)	17.1(8.4)
医療機関	5.4(9.7)	6.0(9.6)	18.6(13.0)
介護老人福祉施設	1.2(1.7)	3.6(5.6)	3.6(3.2)
介護老人保健施設	1.8(2.0)	1.7(1.4)	3.8(2.1)
グループホーム	0.6(0.7)	0.7(0.7)	2.8(3.6)
サ高住	0.3(0.4)	1.3(2.7)	0.7(0.7)
軽費老人ホーム	0.1(0.3)	0.7(1.5)	1.0(1.2)
有料老人ホーム	1.2(1.9)	0.8(0.9)	0.3(0.5)
特別養護老人ホーム	-(-)	2.0(0.8)	-(-)
障害者施設	-(-)	1.0(0.0)	1.0(0.0)
他病棟	-(-)	-(-)	13.0(0.0)
ホームレス	-(-)	1.0(0.0)	-(-)
託老所	-(-)	1.0(0.0)	-(-)
不明	25.0(25.0)	0.0(0.0)	0.0(0.0)

6) 2014年2月のある一日のあなたが勤務する病棟/ユニットの患者の退院先(表4-4-6)

分類Ⅰは入院前と同じ場所へ退院した者16.1名(SD14.7)、転院した者2.8名(SD3.2)、施設入所1.4名(SD2.0)、死亡退院0.8名(SD1.8) 不明2.5名(SD2.9)、

分類Ⅱは入院前と同じ場所へ退院した者6.4名(SD9.3)、転院した者3.4名(SD5.7)、施設入所1.5名(SD1.5)、死亡退院0.7名(SD1.1) 不明6.6名(SD8.8)、

分類Ⅲは入院前と同じ場所へ退院した者4.5名(SD6.0)、転院した者0.2名(SD0.4)、施設入所7.0名(SD14.1)、死亡退院0.8名(SD0.8) 不明8.5名(SD8.5)で、分類Ⅰは入院前と同じ、分類Ⅱは転院、分類Ⅲは施設入所となったものが多かった。

表4-4-6 勤務機関分類別の入院患者の退院先

退院先	分類Ⅰ(SD)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD) ^(人)
入院前と同じ	16.1(14.7)	6.4(9.3)	4.5(6.0)
転院	2.8(3.2)	3.4(5.7)	0.2(0.4)
施設入所	1.4(2.0)	1.5(1.5)	7.0(14.1)
死亡退院	0.8(1.8)	0.7(1.1)	0.8(0.8)
不明	2.5(2.9)	6.6(8.8)	8.5(8.5)

7) 医療機関が診療報酬請求で算定したチーム医療の状況

表 4-4-7～表 4-4-34 に示したように、感染防止対策加算を算定した患者数が 249.1 人／月と最も多く、認知症関連の診療報酬を算定した機関はどの分類の医療機関であっても少なかった。

表 4-4-7 勤務機関分類別の精神科リエゾンチーム加算のチーム医療状況

精神科リエゾン チーム加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	17.6%(n=17)	11.9%(n=42)	5.3%(n=19)
算定患者あり	9.1%(n=11)	13.8%(n=29)	0.0%(n=11)
回答者がチームメンバーである	25.0%(n=12)	32.0%(n=25)	11.1%(n=9)
算定した患者数の平均	—	12.2 人(SD13.4)	—

表 4-4-8 勤務機関分類別の栄養サポートチーム加算のチーム医療状況

栄養サポート チーム加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	76.5%(n=17)	78.0%(n=41)	11.1%(n=18)
算定患者あり	42.9%(n=14)	44.1%(n=34)	0.0%(n=10)
回答者がチームメンバーである	13.3%(n=15)	8.1%(n=37)	20.0%(n=10)
算定した患者数の平均	3.6 人(SD4.6)	12.0 人(SD14.3)	10.0 人(SD0.0)

表 4-4-9 勤務機関分類別の呼吸ケアチーム加算のチーム医療状況

呼吸ケア チーム加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	35.3%(n=17)	26.2%(n=42)	0.0%(n=18)
算定患者あり	30.8%(n=13)	16.1%(n=31)	0.0%(n=9)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=13)	3.4%(n=29)	11.1%(n=9)
算定した患者数の平均	0.5 人(SD0.7)	0.5 人(SD0.8)	—

表 4-4-10 勤務機関分類別の褥瘡ハイリスク患者ケア加算のチーム医療状況

褥瘡ハイリスク 患者ケア加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	76.5%(n=17)	66.7%(n=42)	36.8%(n=19)
算定患者あり	42.9%(n=14)	42.1%(n=38)	14.3%(n=14)
回答者がチームメンバーである	13.3%(n=15)	5.6%(n=36)	16.7%(n=12)
算定した患者数の平均	32.4 人(SD67.8)	5.4 人(SD9.2)	—

表 4-4-11 勤務機関分類別の感染防止対策加算のチーム医療状況

感染防止対策加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	100.0%(n=17)	90.5%(n=42)	57.9%(n=19)
算定患者あり	80.0%(n=15)	60.5%(n=38)	21.4%(n=14)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=17)	2.4%(n=41)	14.3%(n=14)
算定した患者数の平均	249.1 人(SD744.3)	37.8 人(SD79.0)	1.3 人(SD1.5)

表 4-4-12 勤務機関分類別の早期リハビリテーション加算のチーム医療状況

早期リハビリテー ション加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	41.2%(n=17)	32.5%(n=40)	10.5%(n=19)
算定患者あり	61.5%(n=13)	66.7%(n=33)	41.7%(n=12)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=13)	6.1%(n=33)	0.0%(n=11)
算定した患者数の平均	95.9 人(SD57.5)	142.4 人(SD367.6)	11.0 人(SD16.0)

表 4-4-13 勤務機関分類別の脳血管疾患等リハビリテーション料のチーム医療状況

脳血管疾患等リハビリテーション料	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	56.3%(n=16)	22.0%(n=41)	15.8%(n=19)
算定患者あり	71.4%(n=14)	58.8%(n=34)	64.3%(n=14)
回答者がチームメンバーである	7.1%(n=14)	3.3%(n=30)	0.0%(n=11)
算定した患者数の平均	314.6人(SD678.0)	165.7人(SD415.7)	28.3人(SD42.6)

表 4-4-14 勤務機関分類別の運動器リハビリテーション料のチーム医療状況

運動器リハビリテーション料	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	50.0%(n=16)	29.3%(n=41)	26.3%(n=19)
算定患者あり	76.9%(n=13)	63.6%(n=33)	66.7%(n=15)
回答者がチームメンバーである	7.7%(n=13)	3.3%(n=30)	0.0%(n=12)
算定した患者数の平均	236.3人(SD416.4)	200.2人(SD671.0)	19.0人(SD27.8)

表 4-4-15 勤務機関分類別の呼吸器リハビリテーション料のチーム医療状況

呼吸器リハビリテーション料	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	50.0%(n=16)	24.4%(n=41)	15.8%(n=19)
算定患者あり	76.9%(n=13)	48.4%(n=31)	46.7%(n=15)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=13)	0.0%(n=25)	0.0%(n=12)
算定した患者数の平均	26.5人(SD45.3)	9.9人(SD14.3)	1.5人(SD3.2)

表 4-4-16 勤務機関分類別のリハビリテーション総合計画評価料のチーム医療状況

リハビリテーション総合計画評価料	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	62.5%(n=16)	31.7%(n=41)	27.8%(n=18)
算定患者あり	66.7%(n=15)	72.7%(n=33)	40.0%(n=15)
回答者がチームメンバーである	6.7%(n=15)	7.1%(n=28)	0.0%(n=11)
算定した患者数の平均	12.0人(SD11.9)	15.3人(SD21.8)	3.0人(SD2.2)

表 4-4-17 勤務機関分類別の摂食機能療法のチーム医療状況

摂食機能療法	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	70.6%(n=17)	47.6%(n=42)	26.3%(n=19)
算定患者あり	60.0%(n=15)	68.8%(n=32)	53.3%(n=15)
回答者がチームメンバーである	13.3%(n=15)	13.8%(n=29)	9.1%(n=11)
算定した患者数の平均	14.6人(SD13.2)	68.3人(SD227.3)	2.0人(SD1.4)

表 4-4-18 勤務機関分類別の重度認知症患者デイ・ケア料のチーム医療状況

重度認知症患者 デイ・ケア料	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	0.0%(n=17)	0.0%(n=40)	10.5%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=11)	0.0%(n=28)	16.7%(n=12)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	0.0%(n=22)	0.0%(n=9)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	17.0人(SD7.0)

表 4-4-19 勤務機関分類別の重度認知症加算のチーム医療状況

重度認知症加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	5.9%(n=17)	0.0%(n=41)	0.0%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=12)	0.0%(n=28)	8.3%(n=12)
回答者がチームメンバーである	9.1%(n=11)	0.0%(n=22)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	18.0人(SD0.0)

表 4-4-20 勤務機関分類別の栄養管理実施加算のチーム医療状況

栄養管理実施加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	31.3%(n=16)	37.5%(n=40)	16.7%(n=18)
算定患者あり	16.7%(n=12)	22.6%(n=31)	9.1%(n=11)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=10)	0.0%(n=27)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	44.3人(SD52.0)	—

表 4-4-21 勤務機関分類別の地域連携認知症支援加算のチーム医療状況

地域連携認知症支援加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	13.3%(n=15)	2.6%(n=39)	0.0%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=12)	0.0%(n=28)	0.0%(n=12)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	0.0%(n=21)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	—

表 4-4-22 勤務機関分類別の地域連携認知症集中治療加算のチーム医療状況

地域連携認知症集中治療加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	6.3%(n=16)	0.0%(n=38)	0.0%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=12)	0.0%(n=27)	0.0%(n=12)
回答者がチームメンバーである	9.1%(n=11)	0.0%(n=21)	12.5%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	—

表 4-4-23 勤務機関分類別の総合評価加算のチーム医療状況

総合評価加算	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(SD)	分類Ⅲ(SD)
院内チームあり	31.3%(n=16)	16.2%(n=37)	10.5%(n=19)
算定患者あり	25.0%(n=12)	32.3%(n=31)	23.1%(n=13)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=11)	8.7%(n=23)	0.0%(n=9)
算定した患者数の平均	4.0人(SD5.7)	32.0人(SD70.9)	5.0人(SD0.0)

表 4-4-24 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料1(30日以内)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料1 30日以内	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=34)	11.1%(n=18)
算定患者あり	10.0%(n=10)	0.0%(n=27)	30.8%(n=13)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=11)	0.0%(n=21)	0.0%(n=10)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	2.0人(SD1.4)

表 4-4-25 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料1(31日以上 60日以内)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料1 31日以上 60日以内	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=33)	11.1%(n=18)
算定患者あり	10.0%(n=10)	0.0%(n=25)	23.1%(n=13)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=11)	0.0%(n=19)	11.1%(n=9)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	5.3人(SD6.7)

表 4-4-26 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料1(61日以上)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料1 61日以上	分類Ⅰ(度数)	分類Ⅱ(度数)	分類Ⅲ(度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	3.1%(n=32)	11.1%(n=18)
算定患者あり	10.0%(n=10)	95.8%(n=24)	23.1%(n=13)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=11)	0.0%(n=20)	10.0%(n=10)
算定した患者数の平均	—	0.0人(SD0.0)	21.3人(SD26.0)

表 4-4-27 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料 2(30 日以内)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料 2 30 日以内	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=33)	0.0%(n=17)
算定患者あり	0.0%(n=11)	0.0%(n=26)	0.0%(n=11)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	0.0%(n=21)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0 人(SD0.0)	—

表 4-4-28 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料 2(31 日以上 60 日以内)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料 2 31 日以上 60 日以内	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=31)	0.0%(n=17)
算定患者あり	0.0%(n=11)	0.0%(n=24)	0.0%(n=11)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	0.0%(n=19)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0 人(SD0.0)	—

表 4-4-29 勤務機関分類別の認知症治療病棟入院料 2(61 日以上)のチーム医療状況

認知症治療病棟入院料 1 61 日以上	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=31)	94.1%(n=17)
算定患者あり	0.0%(n=10)	0.0%(n=24)	0.0%(n=11)
回答者がチームメンバーである	20.0%(n=10)	0.0%(n=20)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0 人(SD0.0)	—

表 4-4-30 勤務機関分類別の認知症治療病棟退院調整加算のチーム医療状況

認知症治療病棟 退院調整加算	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	0.0%(n=15)	0.0%(n=35)	10.5%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=10)	0.0%(n=27)	8.3%(n=12)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	0.0%(n=21)	0.0%(n=9)
算定した患者数の平均	—	0.0 人(SD0.0)	0.0 人(SD0.0)

表 4-4-31 勤務機関分類別の介護支援連携指導料のチーム医療状況

介護支援連携指導料	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	33.3%(n=15)	31.6%(n=38)	15.8%(n=19)
算定患者あり	50.0%(n=12)	45.5%(n=33)	23.1%(n=13)
回答者がチームメンバーである	10.0%(n=10)	11.5%(n=26)	0.0%(n=10)
算定した患者数の平均	1.0 人(SD0.0)	5.3 人(SD6.4)	1.5 人(SD0.7)

表 4-4-32 勤務機関分類別の退院時共同指導料のチーム医療状況

退院時共同指導料	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	60.0%(n=15)	34.2%(n=38)	5.3%(n=19)
算定患者あり	35.7%(n=14)	28.1%(n=32)	8.3%(n=12)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=12)	7.4%(n=27)	0.0%(n=9)
算定した患者数の平均	1.0 人(SD0.0)	3.0 人(SD3.2)	—

表 4-4-33 勤務機関分類別の急性期病棟等退院調整加算のチーム医療状況

急性期病棟等 退院調整加算	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	40.0%(n=15)	29.7%(n=37)	5.3%(n=19)
算定患者あり	35.7%(n=14)	40.0%(n=30)	9.1%(n=11)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=9)	10.7%(n=28)	11.1%(n=9)
算定した患者数の平均	6.2 人(SD9.0)	9.5 人(SD9.9)	1.0 人(SD0.0)

表 4-4-34 勤務機関分類別の看取り介護加算のチーム医療状況

看取り介護加算	分類 I (度数)	分類 II (度数)	分類 III (度数)
院内チームあり	0.0%(n=14)	2.7%(n=37)	0.0%(n=19)
算定患者あり	0.0%(n=9)	0.0%(n=29)	0.0%(n=11)
回答者がチームメンバーである	0.0%(n=10)	0.0%(n=23)	0.0%(n=8)
算定した患者数の平均	—	0.0 人(SD0.0)	—

8) 2014年2月のある一日の認知症、または認知症が疑われる患者の状態について

表 4-4-35 に示したように、発症した BPSD の各症状で分類Ⅲの医療機関の患者に BPSD を発症した患者が多く出現し、身体拘束を行った者は分類Ⅱ、分類Ⅲ、向精神薬の処方を受けた患者は分類Ⅲに多くなっていた。

表 4-4-35 勤務機関分類別の行動心理兆候等

	(人)		
	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ
1) 行動心理兆候(BPSD)を発症した認知症等患者数(年齢は問わない)	6.7(5.1)	5.4(4.0)	26.4(43.8)
具体的な行動心理兆候別の人数			
・焦燥、不穏状態	2.8(2.3)	3.2(3.6)	3.6(6.0)
・攻撃性(暴行・暴言)	1.9(2.1)	1.4(0.9)	7.6(14.0)
・叫声	1.1(1.4)	2.4(3.5)	4.6(7.8)
・拒絶、ケアへの抵抗	1.9(1.8)	2.2(1.5)	5.9(8.8)
・活動障害(徘徊、常同行動、無目的な行動、不適切な行動)	1.5(1.7)	3.0(3.8)	8.3(12.3)
・食行動の異常(異食、過食、拒食)	1.4(2.1)	1.7(1.3)	4.2(6.4)
・妄想(ものとり妄想、被害妄想、嫉妬妄想など)	1.0(1.0)	1.2(1.1)	3.0(4.1)
・幻覚(幻視、幻聴など)	0.9(1.2)	1.3(1.3)	3.9(6.1)
・誤認(ここは自分の家でないなど)	2.4(3.0)	2.8(4.0)	4.1(6.1)
・感情面の障害(抑うつ、不安、興奮、アパシーなど)	1.1(1.1)	2.1(2.1)	3.9(3.0)
2) 身体拘束を行った認知症患者数	3.3(2.2)	4.8(6.0)	4.9(6.7)
3) 向精神薬を処方されている認知症等患者数	5.4(7.2)	4.2(3.9)	20.5(13.5)
4) 向精神薬が追加処方、または増量となった認知症等患者数	1.4(2.0)	1.1(1.3)	1.0(0.9)
5) 転倒・転落を生じた認知症等患者数	0.4(0.7)	0.6(1.2)	1.3(2.1)
6) 突然心血管イベントを生じた認知症等患者数	0.0(0.0)	0.1(0.2)	0.1(0.3)
7) 6)以外の病状の急変を生じた認知症等患者数	0.3(0.7)	0.2(0.7)	0.3(0.6)
8) せん妄を発症した認知症等患者数	2.0(1.5)	2.4(3.6)	1.3(1.7)
9) その他	-(-)	1.0(-)	15.0(-)

5. 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」の保険の点数化についての意見

1) 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」を提案することに賛成しますか?

「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」への意見に賛成の回答は 66 件(分類Ⅰ：14 件、分類Ⅱ：36 件、分類Ⅲ：16 件)あり、分類Ⅰでは大いに賛成 10(71.4%)、少し賛成 3(21.4%)、どちらでもない 1(7.2%)、少し反対、大いに反対は回答者なし、分類Ⅱでは大いに賛成 30(83.3%)、少し賛成 4(11.1%)、どちらでもない 2(5.6%)、少し反対、大いに反対は回答者なし、分類Ⅲでは大いに賛成 13(81.2%)、少し賛成 2(12.5%)、どちらでもない 1(6.3%)、少し反対、大いに反対は回答者なしであった。

2) 「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」について、具体的に保険点数として一月あたり何点の加算を希望しますか?

「認知症入院患者へのチーム医療加算(仮)」点数への要望点数回答は 47 件(分類Ⅰ：10 件、分類Ⅱ：27 件、分類Ⅲ：10 件)あり、分類Ⅰの平均は 153.0 点(SD78.6)、分類Ⅱの平均は 177.4 点(SD135.0)、分類Ⅲの平均は 219.0 点(SD275.1)で、分類Ⅲの要望額が最も多かった。

第5部 考察